

本 紹 介

Another

凌辻行人

しやばけ

島中恵

ちよんまげぷりん

（相模 真希）

荒木源

モンスター

百田尚樹

（相模 真希）

（金子綾美）

櫻子さんの足
下には死体が
埋まっている

太田 紫織

(金岩未邑)

壬生狂言の歴史



上京の歴史を壬生の誇りとして、千代田の壬生寺に伝承されている。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。

五公の真面目な演技は、狂言の歴史を壬生の誇りとして、千代田の壬生寺に伝承されている。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。



↑壬生狂言の歴史

狂言の歴史は、壬生の誇りとして、千代田の壬生寺に伝承されている。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。

壬生狂言の歴史は、壬生の誇りとして、千代田の壬生寺に伝承されている。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。



↑狂言面

色んな年齢の人の関係が、狂言の歴史に深く関係している。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。

壬生狂言の歴史は、壬生の誇りとして、千代田の壬生寺に伝承されている。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。寛政の頃、上野の寛政寺で、狂言の修行をしていた。

と住職は話す。壬生狂言の生みの親である円覚上人は、壬生狂言を実際に演じたのでしょか？住職に尋ねると「それは、実際に演じたものでしょう。自分が始めたものですから。」



→記者が鑑賞した『紅葉狩』



↑本番直前まで稽古に励む中



円覚上人

←餓鬼と鬼のやりとりがおもしろい鬼角力



←公演中毎日は公開狂言が行われる。壬生の歴史を伝える物語。

